

名寄での特別な体験

た。大学生活は、専門的な勉強の難しさに何度心も折れそうになったり、演習や実習などで大変な日もありますが友達と一緒に乗り越えながら充実した日々を過ごしています。

た。どこで始めようかと悩んでんいたところ、援農ボランティアの案内が来て応募することにしました。

労働で作業に行くたび次の日に全身筋肉痛で動けなくなったことを今でも覚えています。

た。2年生では、1年生の頃にお世話になった農家さんでアルバイトをさせていただけることになりました。今年は、昨年体験した仕事に加えて初めて、かぼちゃ磨きも行いました。

この2年間を通して、自分自身のもとに美味しい野菜が届くまでこんなにも大変な作業が行われて

像していた5倍ほどの量がありとても驚きました。磨いても磨いても終わりが見えない果てしない作業でした。しかし、援農ボランティアは



私、援農ボランティアを通して特別な体験をすることができました。1年生では始まったばかりの大学生活に戸惑いながらも、アルバイト

人気が高く外れてしまうこともある援農ボランティアに参加が決まった時はとても嬉しかったです。1年生では、アスパラの収穫・選別、お米の苗剥がしやお

洗いなごさまぎまな仕事を体験しました。想像以上の肉

この2年間を通して、自分自身のもとに美味しい野菜が届くまでこんなにも大変な作業が行われて

いることを知るきっかけとなりました。名寄に来て援農ボランティアをしなければ一生気が付くことができないことだっ

ると思っています。この経験を通してそのようなどころで働く人に感謝しながら食材を食べていきたいと思いました。卒業まであと何回援農ボランティアに参加できるかとても楽しみです。

私が、名寄市での生活を始めて今年で2年目になりました

た。2年生では、1年生の頃にお世話になった農家さんでアルバイトをさせていただけのこと

た。2年生では、1年生の頃にお世話になった農家さんでアルバイトをさせていただけのこと

た。2年生では、1年生の頃にお世話になった農家さんでアルバイトをさせていただけのこと

た。2年生では、1年生の頃にお世話になった農家さんでアルバイトをさせていただけのこと

た。2年生では、1年生の頃にお世話になった農家さんでアルバイトをさせていただけのこと

看護学科2年

栗山琴和